

自閉症児・者に関わる支援者養成研修会

特定非営利法人 滋賀自閉症研究会たんぽぽ

〒523-0894 滋賀県近江八幡市中村町 661-14 Y'sビル 302

助成事業の概要

自閉症の人達が、本人らしく、自閉症児者として認められた上で、社会の中で心豊かに暮らしていけるよう、支援する立場の方々が自閉症の特性とそれに即した支援を体系的に学ぶ機会を提供するため「自閉症児・者に関わる支援者養成研修」を実施した。

2011年3月、4月のふた月かけて滋賀県内の保・幼・小学校、中学校、特別支援学校を始め福祉事業所や関連行政課など自閉症の方にかかわると思われるすべての機関に案内を送付した。また、法人会員への広報誌にも添付し、会員の関係者で興味のある方に案内できるように手配した。結果、30名の方のお申込みをいただいた。

研修は2011年5月から2012年3月まで、毎月1回、金曜日の夜19時から21時まで、滋賀県近江八幡市近江八幡人権センターにて計10回開催した。講師には重松孝治先生（川崎医療福祉大学 医療福祉学部医療福祉学科 TEACCH 部 特任講師）をお招きし、講義の他、実習や受講生同士のグループでの討議、また、今年度は希望が多かった「思春期の対応」をテーマにした補講をお願いすることもできた。

事業の成果

今回の受講者の皆さんは幼児・学齢期の自閉症児に接する教諭、成人の方の支援施設の支援員、機能の高い方の支援をされている指導員など幅広い職種に就いておられた。

また、県内各所からの参加があった。よって、県内広くいろいろなライフステージの自閉症児者にかかわる方に受講いただけたと考える。

毎回、受講者は熱心に参加して下さった。受講後皆さんにアンケートにお答えいただいたところ、非常によかったという感想をいただいた。以下に一部を示す。

「自閉症についての知識や支援の仕方をわかりやすく説明して頂き、理解しやすかったです。ビデオを用いて実際の様子を映像で見る事で評価の仕方を学びました。今回クラスルームで得た知識を少しでも現場で使い、利用者の方がよりよく生活のしやすい環境を作っていきたいと思います。一年間ありがとうございました。」

「じっくりと自閉症について勉強していなかったのが今回クラスルームを受講し自閉症についてもっと詳しく学ぶことができよかったです。受講する中で実際に自分が現場でしている支援が正しくなかったり、今まで支援していた方法と全く違う支援の方法があったりということを知りました。今回学んだことをしっかり現場で生かし、よりよい支援者になっていけるように頑張っていきたいと思いました。」

「一年間通して学んだこと大変勉強になりました。やはり大事なのは個々人の特性、細かな点をしっかり把握していくこと。そこをしっかりと検討して適した方法で伝えていくこと、環境を作ること。基本は利用者様の視点を考えることが大事であると感じました。主観ではだめだと思い、根本的なことから具体的なことまで大変勉強になった。」

■ 今後の展開

今年度、大変好評をいただいたこともあり、2012年度も同様の研修を開催し、さらに多くの方に自閉症の理解と支援の在り方を学ぶ場と提供することとした。講師も引き続き重松孝司先生にお願いすることができた。

地道な活動となるが、支援者養成研修を続けていくことで、少しずつでも「自閉症児者の特性とそれに即した支援のあり方」を知っていただくことが、ひいては自閉症者の社会参加を進めるものになると考えている。